

平成20年度教育委員会評価

＜評価対象期間＞

平成20年4月1日～12月31日

加西市教育委員会

加西市教育委員会評価委員会

平成20年度 加西市教育委員会 主要施策

～教育を通じた豊かな人生の創造をめざして～

大項目	中項目	小項目	細目 (加西市教育行政方針との関係) ○数字が教育行政方針の項目番号	担当
新しい時代を拓くこころ豊かな人づくり	1 新しい時代を拓く教育委員会の創造	実効的な会議の運営		教育総務課
		活動状況に関する情報の公開		
		教育の改革、改善に向けた課題認識の醸成と共有		
		移動教育委員会の開催と現状の実態把握		
		行政委員会としての企画、立案、執行能力の向上		
		教育委員の研修の充実		
	2 信頼される学校づくりの推進	学校安全体制・学習環境の整備・充実		学教 校育 教育 総務 課
		学校施設の適正配置と耐震化の推進		
		安全安心な学校給食の提供	I-⑭安全な給食の実施と給食指導	
		教職員の資質と能力の向上	I-⑮教職員としての資質と実践的指導力の向上	
	3 個性や能力を伸ばし「生きる力」を育む学校教育の推進	個を生かし、確かな学力を身につけさせる学習指導の推進	I-③学ぶ喜びと個を生かす学習指導の推進 I-⑥地域の実態や児童生徒の実態に応じた「総合的な学習の時間」の推進	学校 教育 課
		特別支援教育の推進	I-⑩一人ひとりの教育的ニーズを把握した特別支援教育の推進	
		豊かな心を育む教育の推進	I-④心に響く魅力ある道德教育の推進 I-⑤個と集団が伸びる特別活動の推進 I-⑧児童生徒理解に基づく生徒指導の推進 I-⑪確かな人権意識を育てる教育の推進	
		健康・安全・防災教育の推進	I-②子どもたちの安全確保と健康・安全・防災教育の推進	
		今日的課題に対応した教育の充実	I-⑦情報社会に主体的に対応できる情報教育の推進 I-⑨自己実現をめざした進路指導の充実 I-⑫今日的課題 (ア)国際理解教育 (イ)福祉教育 (ウ)環境教育	
	4 地域で育む教育の推進	地域の課題に対応した教育の推進		学市 校民 教交 育流 課
		学校・家庭・地域の連携の強化		
		家庭・地域の教育力の向上		
		潜在する地域の教育力の開拓と活用	I-①「生きる力」を育み、地域に信頼される学校づくりの推進	
	5 青少年を育むコミュニティづくり	社会の一員としての自覚の育成	II-②ボランティア活動の奨励	市 民 交 流 課
		多様な価値観と国際感覚の醸成	II-③世界に広がる国際交流	
		青少年の健全育成と規範意識の醸成	II-④たくましくこころ豊かな青少年の育成	
	6 青少年センターの活動の充実と活性化	青少年センターの活動の充実と活性化	II-⑨新しいコミュニティづくり	市 史・ 文 化 財 室
		文化財の保存と活用の充実	II-⑩ふるさと加西の文化財の保存と活用の推進	
		歴史文化遺産の魅力発見と発信		
	7 8 9 歴史文化遺産の保全と活用	加西市史編纂の推進と活用		市 図 民 書 交 流 館 課
		多様な学習機会の提供	II-①生涯学習体制の整備	
		生涯学習施設の効果的運用、充実	II-⑪社会教育指導者の確保と育成	
	10 生涯学習の推進	市民の教養文化発信基地としての図書館管理・運営の充実		
		IT、国際化に対応した学習の振興		
		市民活動リーダーの養成	II-⑥生活文化を高める活動	
		芸術・文化事業の多様な展開、充実	II-⑦芸術・文化の振興	
		市民の健康・体力の増進		
	11 芸術・文化、スポーツ活動の促進	芸術・文化・スポーツ競技力の向上	II-⑧地域ぐるみで取り組む生涯スポーツの振興	
		芸術・文化・スポーツを通じた地域交流の推進		
		校園種間円滑な接続と連携の強化	保育所と幼稚園並びに幼児園の連携 保育所・幼稚園・幼児園と小学校の連携	こ ど も 未 来 課
		家庭や地域社会との連携の強化	園庭開放 II-⑤愛と豊かな人間性を育む家庭教育 親子、地域参画型事業の推進	
	12 人格形成の基盤づくりを担う幼児教育の充実	幼児教育・保育内容の充実	I-⑬自立と協同の態度を培う幼稚園教育 子育て支援の充実	
		乳幼児期の特別支援教育の充実	特別支援教育の充実	

※小項目でも大きすぎる場合は、さらに細項目を設置

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：新しい時代を拓く教育委員会

シートNo 1

目標：教育委員会会議の充実を図り、市民や学校現場の意見を聴取し、新たな課題に対応した教育施策を実施する。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：教育総務課

項目	点検・評価	部分判定
実効的な会議の運営	・定例会を毎月1回開催・・・4月～12月の間、計9回 ・臨時会を2回開催 ・審議件数 27議案 ・可決件数 27議案	おおむね達成している
活動状況に関する情報の公開	・会議の開催案内を市のホームページ上で広報している。 ・傍聴者数 9回延べ36名 ・会議録をホームページ上で公開(平成20年6月会議から開始) ・議事録の写しの交付2件	おおむね達成している
移動教育委員会の開催と現状の実態把握	・教育施設訪問を実施 小・中学校、幼稚園、保育所、図書館・公民館等社会教育施設 ほか計51施設の現地視察	達成している
教育の改革、改善に向けた課題認識の醸成と共有	・教育を考えるつどいを開催(11月1日に3回開催) ・タウンミーティングを市内10箇所で開催し、市民と意見交換を実施	おおむね達成している
行政委員会としての企画、立案、執行能力の向上	・学校施設耐震化の推進の決定 ・教育行政方針の策定 ・教育委員会予算編成方針の策定、指示 ・緊急時の迅速対応(施設管理、学校給食ほか)	おおむね達成している
教育委員の研修の充実	加西市の教育問題について、教育委員会事務局各担当を交え、2回研修会を開催した。	おおむね達成している

総合自己評価結果

おおむね達成している

課題・問題点

- ・会議の公開については、ホームページ上で行なっているのですが、インターネット未利用者には情報が伝わらない。
- ・会議傍聴者の固定化が見られる。
- ・定例会議のほとんどは市庁舎で平日行なっているため、仕事を持つ子どもの保護者の傍聴は困難である。

施策の充実に向けて

- ・移動教育委員会の回数を増やし、学校や社会教育施設での開催を増やす。また、その地区の住民にあらかじめ会議の案内を広報等でも知らせる。
- ・各種計画について、当初から教育委員との情報共有を密にし、素案作成事務に指導的立場を委ねて行く。
- ・市民の声が届くようなアンケートや広聴のシステム構築を検討してゆく。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
教育委員の自己評価が多様であり、見解が一致していない。そのこと自体は問題ではないが、教育委員会の中でそのことが共有されているか、議論していただきたい。企画、立案、執行能力の向上については、比較的厳しい自己評価になっている。企画立案のための取り組み、能力向上の取り組みを充実させていただきたい。	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：信頼される学校づくりの推進

シートNo 2

目標：安全で安心な教育環境の整備と、子どもたちに質の高い教育の実施を図る。そのために、児童・生徒・保護者へ情報提供を行い、意見の反映や理解の促進に努める。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：教育総務課・学校教育課

項目	点検・評価	部分判定
学校安全体制・学習環境の整備・充実	・ 囲障の整備 ・ バリアフリー化の促進 ・ 備品の充実 ・ 施設の管理と整備	おおむね達成している
学校施設の適正配置と耐震化の推進	・ 統廃合計画の推進 ・ 耐震化計画の推進	おおむね達成している
安全安心な学校給食の提供	・ 安全な食材の使用 ・ 基礎的な健康づくり、保持増進を推進する献立 ・ 食文化への関心を高め、正しい食事の摂り方、マナーが身につく ・ 地産地消の活用、旬の食材の利用する ・ 効果的な給食事業の運営をめざす。	おおむね達成している
教職員の資質と能力の向上	・ 各種教職員研修会の実施 ・ 指定研究発表会の開催 ・ 研修講座事業（教育研修所）の充実 ・ 明るく働きやすい職場環境づくり	おおむね達成している

総合自己評価結果

おおむね達成している

課題・問題点

- ・ 安全対策と学習環境整備実施の予算確保。
- 施設の適正配置・規模にかかる統廃合計画の策定。
- 必須事業である耐震化事業の早急の完了。
- ・ 給食センターの老朽化。（RC造昭和41年築）

施策の充実に向けて

- ・ 安全対策・学習環境整備については、予算の範囲内で実施しているが、特に安全対策のレベルを上げる必要がある。
- 施設適正配置は、現在検討中である。耐震化については、耐震化率が39.5%と低いため、現在2次診断を実施しており9月になれば、教育施設全体の耐震化計画が策定できる。
- ・ 教育研修所機能の充実を図る。（人員配置、研修講座内容の工夫等）

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
総合評価は、「おおむね達成している」でよいと思うが、学校施設の適正配置と耐震化の推進については、今後の課題が大きい。保護者、市民の不安、不満は決して小さくはない。今後の取り組みを充実させていただきたい。調理師の知識・技能向上のための研修会への参加が、やや不十分という自己評価であるにもかかわらず、課題・問題点、施策の充実に向けての中で言及がない。今後、充実に取り組んでいただきたい。	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：個性や能力を伸ばし「生きる力」を育む学校教育の推進

シートNo 3

目標：個性と人権を尊重し合う豊かな人間関係を基盤に、こころ豊かにたくましく生きる力の育成を目指す学校づくりを推進する

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：学校教育課

項目	点検・評価	部分判定
個を生かし、確かな学力を身につけさせる学習指導の推進	- 指導内容の精選 - 指導方法の工夫・改善 - 少人数授業等新学習システムの推進 - ヤングアドバイザー等補助員の配置と活用	おおむね達成している
特別支援教育の推進	- 学びのサポーター、スクールアシスタント等支援員の配置と活用 - センター校としての機能充実（特別支援学校） - 適応指導総合事業（教育研修所）の推進 - 個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成	おおむね達成している
豊かな心を育む教育の推進	- 道徳教育及び人権教育の全体計画と年間指導計画の見直し 「ほほえみ」「きらめき」「心のノート」の活用 - 豊かな人間性や社会性を育む体験活動の充実 「加西いきいき学校応援事業」の実施	おおむね達成している
健康・安全・防災教育の推進	- 発達段階に応じた保健・健康教育の推進 - 発達段階に応じた安全教育の推進 - 緊急防災体制の確立と計画的な防災教育の実施 - 学校、保護者、地域が連携した取り組みの推進	おおむね達成している
今日的課題に対応した教育の充実	- 国際理解教育の推進（英語指導助手の活用、小学校の英語活動） - 体験活動を通じた福祉教育の充実 - 情報手段を適切に活用できる能力を育成する情報教育の推進 - 自己実現を目指した進路指導の充実	やや不十分である

総合自己評価結果

おおむね達成している

課題・問題点

- 新学習システムの取り組みに新たな工夫が必要である。
- 担任との連携等で英語指導助手の活用に課題が見られる。
- 情報モラルに関する指導やキャリア教育等、今日的課題に対応した取り組みに課題が見られる。

施策の充実に向けて

- 改訂学習指導要領完全実施に向けて、移行措置を遺漏なく実施する。
- 小学校における教科担任制の導入等、新学習システムの工夫・改善を図る。
- 今日的課題に対応した取り組みの充実を図る。（特に、情報モラル教育、キャリア教育）
- 加西いきいき学校応援事業を充実させ、創意工夫を生かした魅力ある学校づくりを支援する。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
総合評価は、「おおむね達成している」でよいと思うが、自己評価でも厳しい評価となった今日的課題に対応した教育の充実にしっかりと取り組んでいただきたい。 道徳教育や国際化に対応した英語教育のレベルアップが重要となっているので、その充実に取り組んでいただきたい。 特別支援教育の推進に関して、個別の教育支援計画作成がやや不十分となっているので、その対応も充実させていただきたい	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：地域で育む教育の推進

シートNo 4

目標：学校・家庭・地域が連携協力し、家庭の教育力の向上、地域の人たちの主体性に基づいた生涯学習社会の構築をめざす。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：市民交流課・学校教育課

項目	点検・評価	部分判定
地域の課題に対応した教育の推進	・高齢者・視聴覚・障害者教育（社会学級青い鳥）支援	おおむね達成している
学校・家庭・地域の連携の強化	・オープンスクールの実施 ・学校だより、ホームページの充実 ・学校評議員制度の活用 ・学校評価（学校自己評価・学校関係者評価）の実施と公表 ・学童保育、子育て学習、放課後子ども教室、	おおむね達成している
家庭・地域の教育力の向上	ジュニアリーダー教室、青年ふれあい、加西キッズ、青年連絡会「えんどれす」、子ども会育成、連合PTA、家庭教育講座	おおむね達成している
潜在する地域の教育力の開拓と活用	学校支援地域本部事業	おおむね達成している

総合自己評価結果

おおむね達成している

課題・問題点

・ホームページは全学校で開設しているが、その内容に差がある。
・学校評価の結果を次年度にどう活かしていくか。評価内容の改善とともに今後の課題である。
・公民館では、公募館長の指導のもと新しい講座などが市民参画型として取り組まれているが、まだまだ多くの市民参加には至っていない。市民が何を公民館に求めているのかアンケートも調査し、多くの方が楽しく利用できる公民館を考えていければいいのではないかと。子どもからおとしよりまで幅広い生涯学習の場として活用できるよう企画運営を考えていく。

施策の充実に向けて

・担当者の研修を進め、各学校のホームページの充実を図る。
・学校評価を充実（評価項目の改善、評価方法の改善、結果公表の工夫等）させる。
・公民館、各種団体などとの協力体制を深め、社会参加活動、情報交換の活発化を図れるような地域づくりに向け取り組んでいく。学童と放課後子ども教室については、少子化施策の目玉として、児童たちの生活環境のよりよい改善に向けて、学童指導者も含め研究していく。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
自己評価にも表れているが、よく取り組んでおられると思う。達成していると評価してもよいほどであると思われる。学校と家庭と地域との連携をさらに進めるための取り組みを充実させていただきたい	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：青少年を育むコミュニティづくり

シートNo 5

目標：たくましく心豊かな青少年の育成と新しいコミュニティづくりをめざす

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：市民交流課

項目	点検・評価	部分判定
社会の一員としての自覚の育成	青少年団体連絡協議会、女性教育推進事業	おおむね達成している
多様な価値観と国際感覚の醸成	野外教育活動指導者講習会・人材育成事業	おおむね達成している
青少年の健全育成と規範意識の醸成	子ども情報誌の発行、	おおむね達成している

総合自己評価結果

おおむね達成している

課題・問題点

ジュニアリーダー（4年生以上の小学生と中学生、ボランティアで参加している大学生、高校生など参加）が今後、如何に地域ボランティアとして活躍していくか。社会還元できていくかが問題、人材育成事業の基金の運用については、今後早期に検討していく。

施策の充実に向けて

小学生には、自分で考えて行動できる態度を養う、中学生には、グループのリーダーとしての養成、高大学生には、ジュニアで培った経験を地域のボランティア活動に活かすよう指導していく。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
「おおむね達成されている」という評価でよいと思われるが、人材育成事業については、総括が不十分であるように思われる。功績者が、資金助成を受けてどのようにそれを活用し、充実させたのか、検証する必要がある。どのようなコミュニティづくりを進めていくのか、そのイメージを具体化することも必要ではないか。	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：青少年の健全育成と規範意識の醸成

シートNo 6

目標：家庭・学校・地域・関係機関が連携し、市民ぐるみで子どもたちの健全育成、非行防止を図る。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：学校教育課 青少年センター

項目	点検・評価	部分判定
巡回補導活動	・補導委員による定期巡回・・・各班週1回 計421回 ・女性協力員による定期巡回・・・各自週1回 計275回 ・臨時巡回補導（節句祭、サイサイ祭等）3回実施 ・職員巡回パトロール・・・毎日 ・北播磨統一列車内補導・・・2回	達成している
相談活動	・ひょうごっ子悩み相談（電話）・・・相談受理件数20件 ・ひょうごっ子悩み相談（面接）・・・相談受理件数81件	おおむね達成している
広報啓発活動	・イオンでの万引き防止キャンペーン・・・参加者80名 ・広報啓発機関誌「センターだより」発行・・・2回 ・広報啓発機関誌「センター通信」発行・・・7回 ・女性協力員による青パト広報・・・10回 ・非行ゼロ運動作品募集、表彰、展示会、カレンダー作成	おおむね達成している
関係機関との連携	・学校・警察・青少年センター連絡会・・・4回 ・加西市補導委員連絡協議会総会、理事会・・・6回 ・加西市青少年健全育成会総会、会長会・・・13回 ・学校訪問・・・102回	おおむね達成している

総合自己評価結果

おおむね達成している

課題・問題点

- ・ひょうごっ子悩み相談の件数が少ない。
- ・機関誌の内容が一方的だった。
- ・関係機関の考えは理解できたが、連携した取り組みは少なかった。

施策の充実に向けて

- ・青少年センターの相談機能を市民に広く知らせる。
- ・機関誌の内容は保護者や地域のニーズを反映したものにする。
- ・関係機関と共有出来る課題を見つけ、連携した取り組みを進める。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
自己評価のとおりでよいと思われる。自己評価で指摘されているように、青少年センターの相談機能の周知、充実に努めていただきたい。 地域での青少年に対する指導も、地域全体で取り組んでいけるように、教育委員会がリーダーシップを発揮していただきたい。	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：文化財の保存と活用の充実

シートNo 7

目標：指定文化財の保存と活用を図り、地域文化財の継承の取組みを支援する。埋蔵文化財保護については、開発事業との調整に努める。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：市史・文化財室

項目	点検・評価	部分判定
指定文化財の保存活用と修理	- 文化財審議委員会の委員選出について公募制度を導入し開催。 - 国宝等建造物周辺の環境保全事業経費を助成。	達成している
地域文化財の継承取組みへの支援	- 文化財保存団体の活動支援を実施。 - 文化財啓発看板の設置。	やや不十分である
埋蔵文化財保護と開発事業との調整	- 公共事業等に係る緊急発掘調査を実施。 - 発掘調査報告書を刊行。 - 民間開発に先立ち確認調査及び立会い調査を実施。 - 埋蔵文化財包蔵地照会及び指導を実施。	おおむね達成している
史跡整備体制づくりと適正管理	- 玉丘史跡公園利用者の増を図る一環として歴史体験学習活動を実施し公園景観づくりにも配慮。 - 史跡環境整備ならびに周辺住宅地景観調和のため適正管理を実施。 - 玉丘史跡公園指定管理に伴う内部モニターを毎月実施。外部モニター調査として利用者アンケート調査を実施。	達成している

総合自己評価結果

おおむね達成している

課題・問題点

- 指定文化財修理については、多額な経費が必要であり市随伴補助に伴う財源確保が必要。
- 文化財保存団体の活動は、当該文化財が存在する一部地域にとどまり団体間連携が未整備。保存会構成会員の高齢化。
- 史跡は未整備なため都市公園機能が未発揮。
- 歴史体験学習活動の核となる人材育成を指向するが継続的活動施設が存在しないこともあり目的達成まで至っていない。

施策の充実に向けて

- 指定文化財修理は、国・県ならびに財政担当課と連携し計画的に取組む。
- 文化財保存会活動は、先進的な取組みや活動等の報告発表ならびに情報交換を行う研修会内容への開催を検討。
- 史跡管理計画を策定し、整備方針を明らかにし市民協働による管理・活用方法を検討。
- 歴史体験学習では、グループや個人単位でも活動可能な運営を目指し指定管理者と協議を進める。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
項目ごとの評価にばらつきがあり、総合評価が難しい。文化財、観光資源等の啓発看板を設置したり、玉丘公園にもっと人が集まるための取組みを工夫するなど、文化財等の活用をさらに充実させるようにしていただきたい。	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

シートNo 8

施策名：歴史文化遺産の魅力発見と発信

目標：地域文化を構成する多様な価値観を構成する歴史的・文化的・自然的遺産からなる歴史文化遺産の活用を図る。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：市史・文化財室

項目	点検・評価	部分判定
官学連携の推進	・鵜野飛行場関連施設有効活用に伴う基礎調査研究体制の構築。 ・官学共同研究協定書の締結。 ・研究成果等の発表を南部公民館共催で実施。	おおむね達成している
加古川流域における歴史文化遺産の総合調査・研究の推進	・大手前大学・県教育委員会及び東・北播磨地域の各教育委員会の広域連携による実行委員会を組織し、歴史文化遺産地図データ整備を実施。 ・広域連携実行委員会事業「法道仙人と行基菩薩の時代」展、「歴史文化遺産活用ウォーキング」を開催し、歴史文化遺産活用のあり方について検討。	おおむね達成している
歴史文化遺産評価の推進と活用	・歴史的建造物の総合調査を大学・研究機関等と協力し実施。 ・歴史文化遺産ウォーキングを公民館と共催で実施し、多面的活用と利用者ニーズを検討。 ・登録文化財制度等の国・県の制度を活用し地域づくりに活かす。	おおむね達成している

総合自己評価結果	おおむね達成している
----------	------------

課題・問題点	・文化財所有者・管理者等、各研究機関・団体と地域住民の理解と協力が不可欠。 ・事業実施には、市民などマンパワーが必須。 ・地域づくり拠点として公民館と連携したケーススタディー。
--------	--

施策の充実に向けて	・『兵庫県歴史文化遺産活用構想』を参考に県教育委員会施策等との整合と連携。 ・文化財保護だけでなく町づくり・観光資源等として活用による各部課と横断的な連携の推進。 ・事業推進の核となる人材発見ならびに育成に努める。
-----------	---

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
鵜野飛行場関連施設有効活用のための基礎調査研究は進んでいるのかどうか、資料からは不明である。 市民がさらに歴史遺産に触れる機会を増やしたり、ガイドブックを作成したり、工夫の余地は多くあると思われる。自己評価で指摘されているように、各課横断的に取り組んで、充実を図っていただきたい。	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：加西市史編さんの推進と活用

シートNo 9

目

標

歴史風土を正しく理解するためには欠くことができないものであり、市民の郷土に対する誇りと愛着を醸成し文化意識の高揚とともに市民参画の意識活性化を図り、貴重な歴史資(史)料を市民財産として保存継承するため体系化された市史編さんを推進する。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日 (平成20年度)

主管課：市史・文化財室

項目	点検・評価	部分判定
市史発刊計画の円滑推進	・発刊工程を設け市史第9巻史料編3の発刊。 ・部会長会議・各部会・協力委員会の開催。 ・資(史)料調査、収集、整理及び掲載手続き等の実施。	おおむね達成している
市史販売の促進	・市広報、市ホームページ、新聞等を活用した市史発刊の周知。 ・訪問、出張販売、ダイレクトメール等による販路拡大と在庫数減への取組み。 ・公開講座を開催し、販売を促進。	おおむね達成している
市史資料の保管と活用	・レファレンスサービスを実施。 ・市史掲載内容解説の場として「市史を読む会」を開催。 ・史料デジタル化の推進。	おおむね達成している

総合自己評価結果

おおむね達成している

課題・問題点

- ・市史発刊(全10巻)を計画どおりにすすめ平成22年度が最終年度目標。
- ・多額な費用が必要。
- ・史料保存用マイクロフィルムの経年劣化が著しく早急にデジタル化保存が必要。
- ・市民が資(史)料を活用し、保管する施設がない。
- ・市史発刊完了後、行政文書の中から史料保管する必要がある文書をどのように措置するか具体策が未決。

施策の充実に向けて

- ・編集委員会・部会等を随時開催し、市史編さん方針と進捗状況確認を重ね執筆者等との相互調整を図る。
- ・印刷部数の見直し等の検討を行ない経費抑制に努める。
- ・デジタル化に伴う史料優先順位をつけ導入に向かっての検討。
- ・史料活用と保管施設として図書館を候補の一つとし可能性調査の実施。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
「おおむね達成している」という評価でよいと思われるが、資料の保管施設の課題やデジタル化の作業が進んでいないなど、課題は大きい。充実に取り組んでいただきたい。	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：生涯学習の推進

シートNo 10

目標：市民の学習機会の拡充や情報提供サービスの充実と、コミュニティづくりを推進する。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：市民交流課

項目	点検・評価	部分判定
多様な学習機会の提供と整備	公民館、図書館などの社会教育施設での各種教室、登録グループでの講座、図書館での子ども劇場、弦楽四重奏などの自主事業を開催	おおむね達成している
市民の教養文化発信基地としての図書館管理運営の充実	- 図書・視聴覚資料など多様な資料の収集と提供 - 子ども対象のイベントや講座の開催 - 幼・保・公民館子育て教室への図書館PRキャラバンの実施 - 図書館まつりでのイベント開催 - 大人向けお役立ち講座の開催 4F・キッズ・AVコーナーでの特集の企画（毎月）	達成している
IT、国際化に対応した学習の振興	パソコン再チャレンジ講座、5月～12月までに16回開催（北部公民館）、地域づくり講座、国際交流まつりなど（善防公民館）	おおむね達成している
市民活動リーダーの養成	自主グループボランティア（北部・善防子育て学習センター）での託児ボランティア、人形劇、バザー活動など	おおむね達成している

総合自己評価結果

公民館・図書館の社会教育施設でのソフト事業は、独自の企画などを考案し、特徴ある活動が推進され、公民館での新しい講座については、社会参加促進をめざす主催事業に重点をおき館外でのボランティア、NPO活動の促進など公民館運営の転換を図ろうとする動きが見えてきた。おおむね達成している。

課題・問題点

これまでの公民館活動は、固定的な市民団体、グループとの関わりが中心で、趣味、芸術、文化などの活動が多く、社会的な活動は少なかったが、中央公民館の実施のケースのような裁判員制度の講座に見られるように時代に即したタイムリーな市民の関心度の高い講座の新設など新しいニーズにあった活動も実施された。図書館も含め市民満足度につながる情報提供を積極的に実施していく。

施策の充実に向けて

公民館の公募制については、3年目を迎える。中央の一部を除いてすべてが非常勤職員ばかりではあるが、市民交流課との連携を密にして、また他部局との調整も実施して、職員、また館長以下一丸となり、市民が集い、学び、交流する、社会的に有用な市民活動の輪を広げていけるような体制づくりと事業展開を実施していく。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
図書館の取り組みは充実していて評価できると思われる。公民館活動を充実させ、市民や様々なボランティアグループが育つ環境をつくっていくことが必要だと思われる。リーダーの掘り起こしなど、行政としてできる支援を充実させていきたい。施策の充実に向けてにおいて述べられているように、体制作りにも努めていただきたい。	おおむね達成

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：芸術・文化・スポーツ活動の促進

シートNo 11

目標：文化連盟、体育協会など関係機関との連携を図りながら地域に根ざした芸術文化スポーツの高揚を図る。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日（平成20年度）

主管課：市民交流課

項目	点検・評価	部分判定
芸術・文化事業の多様な展開、充実	・加西市文化祭（美術公募展・文芸展・市民音楽祭・芸能祭・いけばな展・茶席・囲碁、おやこ劇場）の開催 ・さつき展・盆栽展・伝統芸能フェスティバルの開催	おおむね達成している。
市民の健康・体力の増進	・体育指導員委員の活動・社会体育団体の指導育成 ・学校体育施設解放事業	おおむね達成している。
芸術・文化・スポーツ競技力の向上	文化連盟等文化団体の指導・育成	やや不十分である。
芸術・文化・スポーツ競技力の向上 スポーツを通じた地域交流の推進	スポーツクラブ21の連携支援	やや不十分である。

総合自己評価結果

おおむね達成しているが、不十分なところもある。

課題・問題点

市文化祭、市体育大会など40数年続けている行事であるので、マンネリ化が免れない事実ではあるが、文化連盟、体育協会、体育指導委員などに自主性を持たせて参画型の大会にし盛り上げていく。今年は、団体にシフトさせていく方向で協議を重ねている。スポーツ21は、解散、清算ということにならない方向で連絡会を立ち上げ、各スポーツ21の状況についての意見交換、連絡調整など活動継続に向けての協議検討していく必要がある。

施策の充実に向けて

県からの補助金で総合型地域スポーツクラブ（スポーツクラブ21）を継続させ、健康増進のための生涯スポーツ拡充の意味から小学校区ごとのクラブを如何に今後より活動を活性化あるいは存続させていくか、体育協会などとも協議を図りながら地域スポーツのあり方について連絡協議会での検討が必要。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
点検評価シートと判定根拠詳細との関連が、対応しておらず、非常にわかりにくい。目標の達成状況のみならず、評価のやり方に不十分さがある。 課題・問題点と施策の充実に向けても対応していない。市文化祭、市体育大会について、課題、問題点を述べていながら、その充実策についてまったく言及がないのは評価として問題である。 スポーツクラブ21については、市民への浸透が十分ではないと思われる。	やや不十分

平成20年度 加西市教育委員会点検評価シート

施策名：人格形成の基盤づくりを担う幼児教育の充実

シートNo 12

目標：幼・保の保育教育内容を深め、職員の資質向上に努めて幼・保教育
保育の充実を図るとともに、地域に根ざした園運営を実施する。

評価対象期間：平成20年4月1日～平成20年12月31日

主管課：こども未来課

項目	点検・評価	部分判定
校種間の円滑な接続と連携の強化	*保・幼・小連携部会・・・2回（学期に1回の予定） ・幼児期から児童期への円滑な移行 ・教員間、幼児・児童間、保護者間交流の実行力、企画力の向上	おおむね達成している
家庭や地域社会との連携強化	・保育所園庭開放・・・・・・・・保育時間帯終日自由開放 ・未就園児親子との交流・・・実施園：北条、下里、九会幼稚園 - 実施日：毎週水曜日	おおむね達成している
幼児教育・保育内容の充実	・幼児教育・保育を考える研究会・・・3回 ・市教指定研究会・・・・・・・・・・・・・・1回 ・保育所、幼稚園合同研修会・・・・・・・・1回 ・預かり保育5園実施、夏季預かり保育1園実施	おおむね達成している
乳幼児期の特別支援教育の充実	・特別支援児担当者会・・・4回	おおむね達成している

総合自己評価結果

おおむね達成している

課題・問題点

- ・未就園児親子との交流については、園を限定しての実施ため、市域全体からの参加が困難である。
- ・子育て支援に係る預かり保育についても未実施園があるので、市域全体の対応が困難である。
- ・特別支援児が増えていくなか、担当者の求人が困難な状況である。

施策の充実に向けて

- ・まずは小学校区内での幼児園を推進する。
- ・預かり保育の規則改正を行い、多様なニーズがあればどの園でも実施できるよう改めていく。

【評価委員による評価】

評価委員の意見	評価結果
自己評価を見る限り、「おおむね達成している」という評価でよいように思われる。ただ、現在加西市で就学前教育のあり方が大きな問題になっている中で、その点についての自己評価がなされていないのは、問題である。保護者、市民の関心も高いので、しっかりと取り組んでいただきたい。 特別支援児研修を受けさせるという点で不十分であると自己評価されているが、それに関する施策の充実策の言及がない。担当者の求人が困難であると問題点で指摘されているが、その対策をどのように考えているのか、示していただきたかった。	おおむね達成

総合評価

初年度で、しかも準備期間の十分でない中で、よく資料を整理され、自己評価が実施されたと思う。その点は、評価できる。今後、さらに充実した評価とするために、心がけていただきたいことを指摘したいと思う。第一に、点検評価シートのための判定根拠資料を目標ごとに丁寧に準備されたのはよいのだが、判定根拠資料の根拠が、外部者にはわからない。教育委員会が取り組んだことや達成状況が分かる資料を用意していただく必要がある。達成度の4段階評価の結果だけでは、外部者は評価できない。第二に、それは、根拠資料だけの問題ではなく、目標と評価指標の問題でもある。何をどこまで達成するのを目標とされたのか、それが示されていないので、評価結果を共有できない。目標と評価指標の設定をご検討願いたい。第三に、評価は、目標達成を見るだけではなく、教育委員会としての義務、責任を果たしているかどうかを点検する目的もある。点検と目標達成度の評価とを区別して、評価項目を整理していただきたい。第四に、自己評価は、「新しい時代を拓く教育委員会」を除いて、教育委員会事務局の担当者の自己評価となっているが、それは、教育委員会の組織原理からみて問題がある。教育委員が、すべての項目について自己評価をすべきであり、それをもとにして、外部者の評価を受けるべきであろう。教育委員による評価が極めて限定的であり、教育委員会として適切な自己評価ができていないと評価せざるを得ない。

以上の課題にこたえようとするならば、まずは、日常的に、教育委員会の取り組みを外部者に知らせる広報活動の充実が必要であろう。そして重点的に取り組む目標と日常的に取り組むべき事柄とを区別して、それぞれに応じた評価の方法を工夫すべきである。重点目標は、丁寧に時間をかけて評価を行い、それ以外の事柄は、簡潔に評価できるように（例えば、チェックリストなどで簡易に評価するなど）、メリハリのある評価となるように、評価のやり方、体制を整備していただきたい。そして教育委員が自己評価できるように積極的に取り組んでいただきたい。